遊YOU米

でわる部門

第12号

遊佐町共同開発米部会企画部編集 平成19年2月

※のので、の田んぼ日誌

遊佐四冬を紹介します



●今年の遊佐の冬は昨年 の冬と比べたらあったか いで~す。平野部には雪 はありません。生活には 本当に助かりますが今年 の米づくりはどうなるの でしょう。

さて冬ですし®の作業日誌をおやすみして遊佐の冬の行事を紹介します。秋田の男鹿の「なまはげ」は有名です。実は遊佐には「あまはげ」という正月の行事があります。遊佐の女鹿集落と滝の浦集落と鳥崎集落には「あまはげ」の行事があります。(開催日 1月1日 (滝ノ浦)、3日 (女鹿)、6日 (鳥崎)) 小正月の行事で鬼の面と藁で作ったケンダシと呼ばれる簑をまとって各家をまわり、五穀豊穣と身体堅固を願い、怠け者をいさめる行事です。特に子どもたちは鬼が家に来るので楽しい正月が一瞬にしてならくの底に落とされてしまう行事でしょうね。

こんな体験をして遊佐の子どもたちは逞しくなっていくのでしょうね。ちなみに私はこの地区の生まれではないのでよ

かったのかもしれません……。 $(-_-$;)

興味のある方は是非 この行事にご参加下さ い。お待ちしてます。



遊佐人への道〉位所書きで院を鍛える

とにかく住所を書くと腕が疲れるのだ。一番長い住所は、 最初から書くと、「山形県飽海郡遊佐町大字白井新田字桜ノ 木沢長根〇番地」だ。やってられないと思うが、そこに住ん でいる人もいる。

しかし、昔からの慣習で、簡略化も不可能ではない。遊佐には地元でしか使わない集落の通称があるからだ。それに、家には代々伝わる屋号も残っている。だから、究極的には、郵便物の宛先には集落名と屋号だけ(たとえば「遊佐町下当喜兵工様」)と書けば足りる。それだけで郵便物が届くということは、何となくその家の自慢であり、また遊佐の郵便やさんにとってプロの証なのだ。

ところで、今日のニュースで、「鹿児島県志布志市志布志 町志布志」という地名を見つけてしまった。これにはかなわ んなぁ。



500人のメッセージ

菅原寬志(中山樽川班)

こんにちは、昨年6月の交流会でお邪魔したものです。 その節はたいへんお世話になりました。

今年は暖冬で、もう「ばんけ」(ふきのとう)が出ていました。地吹雪も今期はまだなしです。鳥海山も6合目ぐらいまでしか白くありません。今年は「種まきじいさん」が見れるか心配です。いやいや、良い天候に恵まれて良いお米ができるか心配です。

ちょうど今は、今期の資材の注文など1年の予定を準備しているところです。寒鱈祭りも過ぎれば、食卓にも「ダダミ」があがり晩酌しながら、今年の稲作りに理想をいだき構想も練られるでしょう。

本年もご指導よろしくお願いします。

朝ごはんを食べよう!

しげばあちゃん 特製レシピ

份色粉色

材料

●切身、鱈のドンガラ(アラ) (肝臓)オスの白子、お豆腐、 ねぎ、味噌、酒、岩海苔



昆布などでダシをとります。

鱈のアラ(頭、骨など)脂ワタ(肝臓)を入れ少し煮ます。 アクがでたらすくいます。

味噌(酒少々)で味をつけます。

切り身を入れて、5分ぐらい煮ます。

白子とネギ・豆腐をいれサッと火が通ったら出来上がり。 器に盛ったら岩海苔をのせて。

遊台屋のラノ夢守っトつしぜかト (自分で育てよう)

ハガキに ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④ブロック名を書いて送ってください。 遊YOU米や『たわら新聞』の感想もそえて! (2月28日締切)

〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐広表6-1 遊佐町共同開発米部会事務局(JA庄内みどり遊佐営農課内) Tel.0234-72-3234 E-mail.yuyou@ja.midorinet.or.jp URL.http://www.midorinet.or.jp/yuyou/

「たわら新聞」バックナンバーは、ホームページに掲載しています。